

平成二十八年六月の作品（六月十日（金））（第四十一回）

（於 新江戸川公園 松聲閣）

昨日けふ旅の空なる海紅豆かいこうず（一江）

鳳凰の揺れ見上げつつ神輿か昇かく（隆治）

巡りきて初咲きばかり花菖蒲（清助）

縁側に茶摘みの籠の置かれあり（芙紗）

山法師苞の白さや月明り（貴美）

夏衣やせし体に風はらみ（太郎）

足湯して肩濡らしたる夏の雨（前歩）

姉妹あねいもと筍づくしの今宵かな（奉男）

夏草や碑のみ残せる戦車廠しょう（正雄）

提灯やあとは祭を待つばかり（平六）

青鷺をかはして魚の宙返り（孝昭）